

## 青梅市の現状について（観光の強み・弱み）

	内部環境（青梅市内）	外部環境（青梅市外、マーケット等）
プラス要因	①観光資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の観光立国推進および2025年大阪万博開催</li> <li>・インバウンド需要の回復傾向</li> <li>・SNSの普及などによる、情報の発信・伝達</li> <li>・圏央道の延長により、広域からの交流人口の増加</li> <li>・健康志向による、登山、ハイキング、ランニング、サイクリング、トレラン人口等の増加</li> <li>・山ガールや中高年の登山ブームの継続</li> <li>・アウトドアブーム。自然を利用した体験観光が人気。グランピングなど環境を楽しむラグジュアリーなイベントが開催</li> <li>・シニア層の旺盛な旅行需要。癒しの旅、病気回復や健康の維持・向上のための旅が人気</li> <li>・若者のトレッキング、リバーアクティビティのブーム</li> <li>・癒しや非日常を求めるセラピーが人気</li> <li>・御朱印集めなど、歴史に興味をもっている人が増えている</li> </ul>
	②食・お土産	
	③サービスプログラム・イベント	
	④アクセス・交通	
	⑤インフラ・施設	
	⑥人材・組織	
マイナス要因	①観光資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる観光客減少の影響継続</li> <li>・近隣地域の将来的な人口減少。また、青梅市内の生産年齢人口、年少人口の自然減少</li> <li>・宿泊・飲食サービス業の企業数が減少傾向</li> <li>・近隣および全国との地域間競争の激化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒高尾山の知名度との乖離</li> <li>⇒自然と体験型アクティビティ、街並み散策を兼ね備えた秩父</li> <li>⇒情緒たっぷりおみやげ豊富な小江戸川越</li> <li>⇒奥多摩、飯能、昭島、長瀬など</li> <li>⇒圏央道開通にともなう他遠方観光地への分散化</li> </ul> </li> <li>・観光客からは青梅市と奥多摩町の観光は一体として考えられているが、行政の壁がある</li> </ul>
	②食・お土産	
	③サービスプログラム・イベント	
	④アクセス・交通	
	⑤インフラ・施設	
	⑥人材・組織	